



2024年5月13日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ユニバンス  
代表者名 代表取締役会長兼社長 鈴木 一和雄  
(コード番号7254 東証スタンダード市場)  
問 合 せ 先 執 行 役 員 藤 崎 一  
(TEL. 053-576-1311)

通期連結業績予想値と実績値との差異、特別損失（連結・個別）の計上  
および剰余金の配当に関するお知らせ

当社は、2024年3月期連結累計期間（2023年4月1日～2024年3月31日）の決算において、2024年2月13日に公表しました業績予想と実績に差異が生じたのでお知らせいたします。

併せて、特別損失を計上しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、本日開催の取締役会において、下記のとおり、2024年3月31日を基準日とする剰余金の配当につき、2024年6月26日に開催予定の第91回定時株主総会に付議することを決議しましたので、お知らせいたします。

記

1. 2024年3月期通期の連結業績予想値と実績との差異（2023年4月1日～2024年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 52,000	百万円 3,500	百万円 3,500	百万円 1,500 ～2,500	円 銭 72.01 ～120.02
今回実績（B）	52,771	4,374	4,537	1,773	85.16
増減額（B－A）	771	874	1,037	273 ～△726	
増減率（%）	1.5	25.0	29.6	18.3 ～△29.0	
（ご参考）前期実績 （2023年3月期）	48,601	1,146	1,095	787	37.83

<差異の理由>

第4四半期連結会計期間において、為替が更に円安で推移したことによる為替換算影響や、原材料価格およびエネルギー価格高騰に対する販売価格への転嫁が想定以上に実施できたこと等により、売上高、営業利益及び経常利益ともに前回予想を上回りました。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、当社の連結子会社である株式会社遠州クロム（浜松市）工場敷地内における土壌および地下水汚染（注）への対応のため、将来のリスク低減として汚染地下水の敷地外への拡散防止および浄化を行い、また、恒久的な土壌修復も実施する費用20億91百万円を特別損失に計上したことにより、前回発表の予想レンジ内の結果となりました。

(注) 第3四半期連結累計期間において、当社連結子会社である遠州クロムの工場敷地内で地下水汚染の自主調査を行った結果、環境省令に定める基準値を超える特定有害物質（六価クロム）が検出されました。当該調査の結果については浜松市に報告し、令和5年12月2日付で公表されております。浜松市および遠州クロムが実施した遠州クロムの敷地外における井戸水の水質調査（令和5年12月3日から12月13日測定）では、環境省令に定める基準値を超過した六価クロムは検出されております。また、これまでに健康被害の報告もされております。今後も近隣住民・事業者の安心安全を最優先とし、行政当局および専門家の指導を仰ぎながら、将来のリスク低減として汚染地下水の敷地外への拡散防止および浄化を行い、また、恒久的な土壌修復も実施する予定であります。

## 2. 特別損失（連結・個別）の計上について

### (1) 特別損失（連結）の計上について

2024年2月13日に公表しました当社連結子会社である遠州クロムの工場敷地内における土壌および地下水汚染への対応に関し、当連結会計年度において汚染地下水の敷地外への拡散防止策としての遮水壁の設置等が完了したことから、特別損失として環境対策費53百万円を計上いたしました。また汚染地下水の浄化および恒久的な土壌修復についても計画を策定し現時点での見積り額が確定したことから、特別損失として環境対策引当金繰入額20億37百万円を計上いたしました。

### (2) 特別損失（個別）の計上について

当社連結子会社の遠州クロムについて、前述のとおり環境対策費等の計上により当該子会社の財政状態が悪化したため、2024年3月期の個別決算において、特別損失として関係会社株式評価損2億99百万円、関係会社貸倒引当金繰入額1百万円および関係会社事業損失引当金繰入額16億11百万円を計上いたしました。

なお、当該関係会社株式評価損、関係会社貸倒引当金繰入額および関係会社事業損失引当金繰入額につきましては、連結決算上相殺消去されるため連結財務諸表に与える影響はありません。

## 3. 配当の内容

### 期末配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (2023年11月10日公表)	前期実績 (2023年3月期)
基準日	2024年3月31日	同左	2023年3月31日
1株当たり配当金	円 銭 6.00	円 銭 5.00	円 銭 4.00
配当金総額	124百万円	—	83百万円
効力発生日	2024年6月27日	—	2023年6月28日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

<理由>

当社の利益配分に関する基本方針は、常に企業価値を向上させることにより、株主利益の増大を目指すとともに、経営の基盤と収益力の強化に努め、今後の事業展開を実現させるための投資等に備えつつ収益と財務のバランスを図りながら、継続的な配当を実施していく事であります。

2024年3月期の期末配当につきましては、上記の基本方針ならびに当期の業績や今後の財務状況などを総合的に勘案した結果、1株あたり5円から6円に増配といたします。これにより年間配当予想額は、1株につき11円となります。

(ご参考) 年間配当の内訳

基準日	1株あたり配当金		
	第2四半期末	期末	合計
当期実績	円 銭 5.00	円 銭 6.00	円 銭 11.00
前期実績 (2023年3月期)	3.00	4.00	7.00

以上